(大正十四年桜星会優勝

凝視よ感激の胸と胸 今幽貌の曠野に狂ひ っ っ いまいうばく の いまいうばく の いる いました。 くる そは繚原 桑ś 楡ゥ わ われ吾が戦友の発輸哺紅に彩え が く 雙眸を мの火と燃えて \* の血がなせ 涙が る 史し

胡蝶蒼穹ゆく夢しば 配素である。 はるでととき はるでととき はるでととき はるでととき はるでととき はるでととき はるでととき はるでととき はるがまる。 はれ難き

に酔ふ ば

讃へ唱はん光栄の優勝歌 デベん戦士が情懐を デベん戦士が情懐を ははえ の船

木村 宗知 英男 康 君 君 作 作 歌 曲